

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	外国語・英語表現Ⅱ	学年	第2学年	教科書	数研出版「DUALSCOPE English ExpressionⅡ」
		単位数	2単位	副教材	数研出版「DUALSCOPE English Grammar in Fundamental 36 桐原書店「POWER STAGE 英文法・語法問題」

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。
------	--

学習方法	ア.与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ.主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ.聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ.多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。
------	---

学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
	a	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
b	外国語表現の能力	語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に表現することができる。
c		
d	言語や文化についての知識・理解	正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	Essential Rules for Communicative Activities Stage 1～ Stage 2	4	UNIT1～UNIT3 Deciding the Subjects of Sentences	一般の人々・非人称のitなど	○	○		○	a: 主語の表現を理解、活用するため、意味上の主語、無生物主語を用いた文の聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 b: 主語の表現表現を用いて書いたり、話したりできる。 d: we, you, they, there が英語特有の表現であることを知っている。 d: 無生物主語が英語特有の表現であることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・課題への取組 ・問題への取組 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
				句・節 意味上の主語	○	○		○		
				無生物主語 名詞構文	○	○		○		
		4	UNIT4～UNIT7 Using the Correct Forms of Verbs	現在時制・過去時制	○	○		○	a: 英語の時制を理解し、活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 a: 助動詞、受動態、仮定法を理解し活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 b: 現在時制、過去時制、進行形、完了形、助動詞、受動態、仮定法を用いて、書いたり話したりできる。 d: 状態動詞、動作動詞、進行形にならない動詞を知っている。 d: 能動態で受動態の意味を表すことを知っている。 d: 直説法と仮定法の意味、用法の違いを知っている。	
				進行形・完了形	○	○		○		
				助動詞・受動態	○	○		○		
				仮定法	○	○		○		
		4	UNIT8～UNIT10 Using Verbs with Objects or Complements	準動詞の名詞的用法	○	○		○	a: 不定詞、動名詞、英語の語順、使役動詞、知覚動詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 b: 不定詞、動名詞、5文型、使役・知覚動詞を用いて、書いたり話したりできる。 d: 動名詞、不定詞どちらかだけを目的語に取る動詞を知っている。 d: 自動詞、他動詞、使役動詞のmake, let, haveの違いを知っている。	
				文型	○	○		○		
				使役動詞 知覚動詞	○	○		○		
		4	UNIT11～UNIT13 Modifying Nouns	分詞・不定詞・同格	○	○		○	a: 分詞、不定詞、関係代名詞・副詞を理解し活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 a: 関係詞の非制限用法、複合関係詞を理解し活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 a: 英語特有の名詞の概念を理解し活用するため聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 b: 分詞、不定詞、関係代名詞、関係副詞や関係詞の非制限用法、複合関係詞を用いて書いたり、話したりできる。 b: 英語特有の名詞の概念を踏まえて書いたり話したりできる。 d: 分詞の位置、whichとthatの使い方、複合関係詞をno matterで書きかえられることを知っている。	
				関係詞の制限用法	○	○		○		
				関係詞の制限用法非制限用法 複合関係詞	○	○		○		
		4	EXTRA UNIT 1～3 BOUNUS UNIT Tips for Expression	名詞・冠詞	○	○		○	a: 名詞の概念、冠詞の機能、形容詞・前置詞の機能を理解し活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 b: 名詞の概念、冠詞、形容詞、前置詞の機能を踏まえ、書いたり話したりできる。 d: 数えられる名詞、数えられない名詞の区別が必要であることを知っている。 d: 冠詞が着く・付かない場合があることを知っているか。 d: 町の様子を描写するための語彙や表現方法を知っている。	
				形容詞・前置詞	○	○		○		
				Japanese English	○	○		○		

		4	UNIT14～ UNIT16 What is your dream? How's school going? Will you join our new club?	目的表現・夢・目標	○	○	○	a: 目的・程度・結果・原因・理由の表現を理解し活用するため聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 a: b: 目的・程度・結果・原因・理由、の表現を用いて書いたり話したりできる。 d: in order to, so as toの使い方を知っている。 d: too～to, enough toがso～thatで言い換え方を知っている。 d: because, since, asについての使い方を知っている。	
		4	UNIT17～ UNIT19 Volunteering is a lot of fun New smart X on sale Welcome to Tokyo	譲歩の表現 社会福祉	○	○	○	a: 譲歩、比較の表現を理解し活用するため、書き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 b: 譲歩、比較の表現を用いて書いたり話したりできる。 b: even though, even ifについての使い方を知っている。 d: 比較級、最上級の強め方を知っている。 d: 形容詞、副詞の原級、比較級、最上級の慣用表現を知っている。	
		6	UNIT20～ UNIT22 Recruitment of New Employees Appealing to the World Using Words to Connect Ideas	条件・仮定の表現 言語・コミュニケーション	○	○	○	a: 条件・仮定、否定の表現を理解し活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 a: パラグラフ、つなぎ表現を理解し活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 b: 条件・仮定、否定の表現を用いて書いたり話したりできる。 b: つなぎ表現を適切に用いて書いたり話したりできる。 d: 直説法と仮定法の使い方を知っている。 d: 自然・環境に関する英語の語彙や表現を知っている。 d: 選んだトピックの背景知識、語彙、表現を習得している。	
		6	UNIT23～ UNIT25 Listing / Time Order Additional Information / Restatement Comparison / Contrast	列挙・時間的表現	○	○	○	a: 列挙・時間的順序の内容や追加・言い換えの内容、比較・対照の内容を理解し活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 b: 列挙・時間的順序のつなぎ表現、追加・言い換へのつなぎ表現、比較・対照のつなぎ表現を用いて書いたり話したりできる。 d: 列挙・時間的順序、追加・言い換えを表すつなぎ表現を知っている。 d: 類以点を表すつなぎ表現、相違点を表すつなぎ表現を知っている。	
		6	UNIT26～ UNIT27 Examples Cause and Effect Tips for Expression	例示	○	○	○	a: 例示の内容、原因と結果を表す内容を理解し活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 b: 例示のつなぎ表現や原因・結果のつなぎ表現を適切に用いて書いたり話したり話したりできる。 d: 例示を表すつなぎ表現、例示を表すつなぎ表現、結果を表すつなぎ表現を知っている。 d: 自分の選んだトピックの背景知識や語彙、表現を習得している。	
		6	UNIT28～ UNIT30 Introducing Things and Events Proposing Ideas Raising Issues	物事を紹介する	○	○	○	a: 物事を紹介する際の論理的展開、企画を提案する際の論理的展開、問題を提起する際の論理的展開を理解し活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 b: 英語で物事を紹介する際、英語で企画を提案する際、英語の問題を提起する際の論理的パターンを理解して活用できる。 d: 選んだトピックの背景知識、語彙、表現を習得している。	
		6	UNIT31～ UNIT32 Tips for Expression politeness Weighing Up Pros and Cons Presenting Ideas Clearly and Effectively	是非を論じる	○	○	○	a: 是非を論じる際に論理展開を理解し活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。 a: プレゼンテーションにおける発表の仕方について、さまざまな工夫を試みようとしている。 b: 英語の文章は、複数のパラグラフで構成され、それぞれ役割があることを理解できる。 b: プレゼンテーションにおいて、情報、意見、提案を分かりやすく提示して説明ができる。 d: 自分で選んだトピックについて、知識や語彙表現を習得している。	
		6	UNIT33～ UNIT34 Taking Part in a Discussion Choosing Sides in a Debate	プレゼンテーション Buzz Session	○	○	○	a: ディスカッション・ディベートにおける準備の仕方や工夫を試みようとしている。 b: ディスカッションにおいて、互いの意見を尊重しながら自分の意見を述べることで、議論の質を高めることに貢献できる。 b: ディベートにおいて、肯定側と否定側の立場で主張を述べるができる。 d: ディスカッション・ディベートに関して、基本的な流れや注意点を理解している。	
		6		ディベート Mini Debate	○	○	○		
		64	合計時数(55分授業)						<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・課題への取組 ・問題への取組 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査

後期

Essential Rules
for
Communicative
Activities
Stage 2

Effective Skills
for
Communicative
Activities
Stage1～
Stage2

Section3
Communicative
Activities